

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターぶどうの樹未来塾

公表日 2025年3月13日

利用児童数 2025年2月1日時点で51名

回収数/配布数 33/51

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	0	0	3	・子どもの増減があるので十分かどうかは分からない ・クラスが変わってからの人数や環境が現時点で不明です ・室内も屋内も十分なスペースが確保されておりいつも子供達が楽しそうに遊んでいるなと思っています。 ・見学に行かせていただいた時にとても広くてのびのびと娘が動きまわっていました。	子どもの増減に対しての活動スペースは法令に基づいて十分に確保しております。クラスが変わってからの人数や環境が分からないというご指摘に対しては面談や保護者参観の機会を設けるなどして各保護者様に見ていただけるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	0	0	6	・子どもの増減があるので分からない。 配置基準に基づいていればいいと思う ・しっかり見ていただけていると思います。 ・まだならし保育中でしーヶ月も経っていないのでわかりませんが、娘の様子を見ていて安心ですし、適切だと思います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1	0	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	2	0	1	・親子療育に参加する際、いつもきれいでとても心地よく過ごせる環境だなと感じています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	3	0	1	・子供に合わせた活動をしていただいています。 ・娘の特性や理解力に応じて様々な支援を頂いています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	3		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	33	0	0	0	・きちんと意見を反映していただいています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2	0	4		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	1	0	2	・まだならし保育なのでわかりませんが、娘は毎回楽しそうですし、言葉もお増えてきたので先生方の支援のおかげだと思っています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	4	0	3	・日々、色々な活動が行われており、とても工夫頂いているなと思います。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	2	7	10	・知らないだけでもいいかもしれませんが、あまり他の園児と交流という話は無いかと思います。 ・まだならし保育1ヶ月ですが、見学の際、お話を聞いて交流が沢山あるんだなと感じました。	筑後市唯一の児童発達支援センターとして、2024年12月に地域の子供たち対象のクリスマスコンサートを企画しました。今後も年に一度程度のスパンで地域との交流の機会を設けていきたいと思っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1	0	0	・しっかり説明していただきました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33	0	0	0	・しっかり説明していただきました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	2	1	7	・毎月1回、親子療育を開催頂き、色々と学ばせて頂いております。	開催曜日を増やすことを検討していきます

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32	1	0	0	・連絡帳やバスの乗降時にいつもたくさん状況について共有できています。 ・連絡帳でのやりとりや電話でも対応して下さるのでありがたいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	3	0	0	・定期的な面談だけでなく、連絡帳を通して都度助言を頂いております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	1	0	0	・いつも全ての子供たちにとても素晴らしい支援を頂いていると感じています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	5	2	10	・月に1度の親子療育で機会を頂いております。園での様子を知る機会として、とてもありがたいです。 ・まだならし保育1カ月目なのでわかりませんが話を聞いていて、保護者同士の交流もあると思いました。	兄弟児の参加を促していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	2	1	3		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	0	0	・定期的な面談や連絡帳で意思の疎通ができています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26	2	1	4	・定期的にホームページを更新頂いております。いつも楽しみにしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1	1	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	3	1	12	・定期的に訓練頂いております。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	29	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2	1	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	33	0	0	0	・毎日笑顔で登園しています。「未来塾」というワードにも反応して玄関に向かっています。 ・ならし保育の日は、準備ができた自分から外へ出て送迎車を待ちますし、行く時も楽しそうに私にばいばいして行くので安心感があります。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	1	1	0	・言葉はありませんが、通所の様子から見ても、とても楽しみにしているのを感じます。 ・毎回楽しみにしているのが態度から伝わってきます。 ・日によって違いがありますが行けば楽しそうにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	33	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年3月13日			
児童発達支援センター ぶどうの樹未来塾					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	4		法令に基づき職員配置をしている。次年度は新入職員の入職もあるので、職員配置を手厚くし加配体制を整備/届け出をしていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		各クラス1部屋のためチェック項目のような使用をしていない
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	第三者委員を選任している。	第三者委員を選任していることを知らない職員にも評価結果が分かる仕組み作りが必要である。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3		児発センターの中核的な役割として、地域の事業所対象の研修会を開催予定。自事業所の職員も参加できるように検討していく。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4		ICT環境整備事業にて標準化されたツールを導入予定(2025年4月より)
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	週案(活動プログラム)をクラス会議で共有している	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	8	1		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	5	4		
	30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	6		管理者のみが部会に参加している現状。部会のテーマによっては現場の職員から参加者を選任する必要性も検討していく。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	7	2	併設の他事業所になるが子ども食堂を開催している	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		BCP計画の定期的または継続的な見直しを実施していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターぶどうの樹未来塾			
○保護者評価実施期間	2025年1月4日 ～ 2025年2月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51名	(回答者数)	33名
○従業者評価実施期間	2025年2月1日 ～ 2025年2月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通園に特化した児童発達支援センターとして、児童が毎日安心して過ごすことの出来る施設であること	各クラス共に毎日、顔なじみの先生やお友達と過ごすことで児童が安心して楽しく過ごせる環境づくりをしています。また、毎日の公文学習や朝の会、給食等の日々の保育の中で児童が楽しく成長していくことを支援しています。	親子参加の行事の充実
2	理学療法士/作業療法士/言語聴覚士の各専門職による個別療育を提供していること。	通園療育の児童には連絡帳等で保護者様との療育内容の共有を図っています。個別療育の児童保護者様には定期的に療育の場面を見学していただいています。	今年度はユニバーサルフレーム「スパイダー」を導入しました。今後も新たな療育器具の導入を検討していきます。
3	運動と音楽のグループプログラムを実施しています。児童の将来の余暇や楽しみに繋がることを目標に支援しています。	児の苦手ではなく、得意や好きに着目したプログラムを展開しています。	開催曜日の増加を検討中

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	筑後市唯一の児発センターであるが、入り口としての相談機能をまだ有していないこと。	相談支援事業所を開設するなどして相談機能の強化が求められる	左記の相談支援事業所の開設を具体的に検討していく
2			
3			